

# 大門だより

No. 12  
(438号)

荒川区立大門小学校  
校長 野澤 一代  
令和3年 3月 1日

大門小ホームページ

荒川区立大門小学校

検索

《本校の教育目標》 考える子 やさしい子 たくましい子

随時更新中!

## 「春はもうすぐ」

校長 野澤 一代

3月、弥生（やよい）。木草弥生い茂る（きくさいやあおいしげる）月が短くなり、「弥生（やよい）」となりました。他の季節と違い、この説が有力です。（諸説ありません。）別名に花月・嘉月（かげつ）、花見月（はなみづき）、暮春（ぼしゅん）、桜月（さくらづき）、雛月（ひいなつき）。春に近づいている華やかな名称が多いですね。

3月と言えば「桃の節句」ですが、もとは女の子だけのための行事ではなく、春の訪れを喜び、無病息災を願う厄払いの行事でした。（2月の節分と同じです。）

1月、2月、3月の土曜授業日は、3回に分けて道徳授業地区公開講座です。例年ですと2月に全学級で一度に「特別の教科 道徳」の授業を公開し、保護者の方や地域の方々にご参観いただくところでしたが、今年度は「ZOOM」にて各クラスの公開となりました。保護者の方もすっかりZOOMの入りがスムーズになり、ありがたい限りです。来年度は、音声や画面の状態をクリアにできるように準備を進めています。

「特別の教科 道徳」の授業を日頃より授業観察していると、児童の規範意識の高まりや自分自身の振り返り、人との関わり方等を考える姿に出会います。自分の経験に照らし合わせる子、経験したことがなく考えがまとまらない子、友達の見解にはっとする子、教師の失敗談に安心する子・・・大切な心の揺さぶりだと思います。

人に優しくすること一つにしても、相手の気持ちを想像する力や優しくする方法、声を掛けるための語彙を探す等「自分の心との語り合い」が必要です。

2月19日に「6年生を送る会」がありました。ソーシャルディスタンスを取るために2部制にして実施しました。各学年が今までお世話になった6年生へ思い出を振り返る出し物や感謝の言葉を贈りました。その中で、5年生が6年生一人ひとりに、6年生の良いところを伝えました。「おしゃれでやさしい、面倒見のいいお姉さん」「かつこよくて、困っていると助けてくれて、帰り道が一緒になると一緒に帰ってくれるお兄さん」等34名分の誉め言葉が体育館中に響きました。心温まるひとときでした。

新型コロナウイルスによる新しい生活様式で人と直接接する機会がこの後も難しくなり、それこそオンラインの活動が増える世の中になるかもしれません。それでも、人との関わりはどのような形態でも大切です。人として大切にすることは何も変わりません。学校は毎日、「人として大切なこと」を子供たちに語り掛けていきます。

修了、卒業の3月を迎えました。一年間、本校の教育活動にご理解とご協力をいただきありがとうございます。今年度も残り一ヶ月となりました。学習のまとめを行い、新しい学年に向かって充実した一ヶ月にしたいと考えています。

